

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 3年 2月 24日

事業所名 みらいのいぶき

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○			法定で決められたスペースは確保しております。来所されるお子様の状況や車椅子やバギー等の状況を踏まえ、活動内容、活動時間帯によって、リスク管理、活動が行いやすい様にテーブル等のレイアウトを変更したりしています。
	2	職員の配置数は適切である	○			法定での配置基準は満たしております。しかし、保護者様からの様々なニーズにお応えしようとした場合、支援員の数に不足を感じる場面があります。現在、増員を含めサービス自体の適正化も含め検討中です。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	○			
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○			スタッフミーティングを月に1回、サービス支援会議を月に2回開催しており、問題点も含めサービスの適正化、質の向上、年間目標、先月の振り返り、来月の目標設定等行っております。定期的に姉妹事業所と合同ミーティングを行い、双方の業務改善に係る情報交換を行っています。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○			事業所のできる最大限の改善を行うよう努めております。今回より、情報公表時に「ご意見に対する事業所の方針欄」を設け、方針決定後記載し、閲覧できるよう改善いたしました。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○			ホームページ:「 http://www.m-ibuki.com/ 」に掲載しております。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○		法人グループ役員からの指導はありますが、第三者へは依頼しておりません。今後の検討課題としています。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○			毎週(火)に社内研修を行っております。放課後等デイサービスの支援技術だけではなく、症例報告、多職種連携等、研修内容は多岐にわたる内容を行っております。また、外部勉強会の参加も定期的に行っております。
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○			お子様、保護者様のニーズや課題の聴取等、定期的に行っており計画書に反映しております。しかし、当事業所におけるアセスメント力不足、経験不足のため、より客観的に分析された計画を作成できることが課題として挙げられます。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○			当事業所の方針は「自律支援:新しい能力(機能)の獲得」を目指しております。従いまして、標準化されたアセスメントツールを基に独自のアセスメントツールを作成進行中です。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	○			専門職(保育士、教員、理学療法士、作業療法士、看護師)の多職種で構成されるチームにて作成しております。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○			各専門職の知識・技術を用いた専門的なプログラムの設定や豊富で多彩なバリエーションプログラム作成が課題です。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
適切な支援の提供	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○			平日は短時間である為、医療的な健康管理・ケア中心。休日は遊びリテーションプログラム中心。長期休暇は学校の課題サポート+専門的なリハビリテーション+遊びリテーションプログラムを行っています。しかし、きめ細やかさが充分とは言えない為、業務終了後や週一回の会議にてスタッフ間で課題の共有や設定を行っています。今後は、更にきめ細やかに設定できることを課題としています。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成している	○			個別支援会議を2週間に一回開催、多職種でチームが形成される為、専門職が評価し、個別プログラムを個別支援計画に盛り込んでおります。また、集団活動にも目的別で参加を行う旨、記載しております。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○			現在は、コロナウイルスの感染を考慮し、一同に会することは避けております。その為、独自の社内情報共有システムを利用し、前日及び当日に職員間で情報の共有・周知に取り組んでおります。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○			支援終了後も15と同様、スタッフが一同に会する場面を避け、終礼の代わりに全職員が閲覧・共有・周知出来るように業務報告にて周知を行う様にしています。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○			活動記録を記載し、全ての職員が閲覧できるよう仕組み化しております。また、長期の取り組みに関しては個別支援会議、緊急を要する事項は即時改善に努めています。
	18	定期的モニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○			14と同様、個別支援会議前に各専門分野ごとにモニタリング結果をすり合わせています。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	○			基本活動は行っておりますが、複数組み合わせ、充分であるかとは言い難いと思われま
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○			精通した職員が参画できるよう可能な限り、スケジュール調整しております。合わない場合は書面にて状況、内容等を報告し後日、担当相談支援員と情報交換させていただいています。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	○			学校主催の情報交換会の参加をしております。(年間計画、行事予定、下校時間等の打ち合わせがあります)また、適宜学校側よりご指導を頂いております。また、ご利用中のお子様についての情報発信をこちら側よりさせて頂く場合もあります。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	○			連携医療機関へ訪問看護ステーションと同行し、直接情報交換等行っています。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	○			児童発達支援事業所との情報共有は現在進行中ではありますが、全てのお子様に関して就学前の利用施設との情報交換・相互理解が今後の課題です。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	○			担当が決まっていらっしゃる相談支援専門員の声掛けで担当者会議が開催されている場合は参加しております。今後、すべてのお子様の情報提供ができるよう、保護者様と連携し、移行先の事業所先に働きかけていきます。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている				現在、コロナウイルス感染予防の為、研修等は開催が行われていない状況です。今後リモート等で行われるようであれば、積極的に参加したいと考えております。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある				現在、コロナウイルスの感染予防の一環として、外部施設の方々との交流は控えております。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している				現在は、コロナウイルス感染予防の為、このような会が行われていないことから、参加はしておりません。リモート等で開催があるのであれば、積極的に参加したいと思います。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○			送迎時や連絡帳を通じてお伝えしていますが、内容が「保護者様と共通理解するために『充分!』」とは言い難いと思われま
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	○			相談支援員や学校、療育センターと情報共有を行い、関係機関と協力して様々な視点を通して、保護者様に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っています。
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○			契約時に左記の内容を重要事項説明書をもって説明しております。また、法改定時には新しい重要事項説明書をもって補足説明を行っております。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○			できうる限りの助言は致しておりますが、保護者様のご期待に沿える十分な助言とは言い難いと思われま
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○		今後は保護者会の開催や情報交換の機会を設けたいと考えま

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○			マニュアル、フローチャートに準じて対応時の状況、その検証、職員への周知を図っております。しかし、充分なご納得を頂けているかどうかの聞き取りを今後も継続強化してまいります。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○			「みらいのいぶき通信」を定期的に発行し、活動等の様子を写真を添えてお届けしております。大きなイベント等の行事予定はお知らせしておりますが、定期的な発行が出来ていない状況です。
	35	個人情報に十分注意している	○			法定に則り、厳重に管理しております。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○			コミュニケーションはご家庭、学校、事業所と統一した方法で行わなければ意味がないと考えており、特にご家庭・学校における手段の情報収集に徹しております。また、最近ではITが進化しておりますので、コミュニケーション力の向上を図るアプリケーションも取り入れ、新しい手段も模索しております。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○		リモートによるグループ内の他事業所とイベントは行っておりますが、状況が状況だけに地域住民の方々を招待する企画まで至っておりませんので、今後の情勢等を慎重に見ながら、検討していきます。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	○			各種マニュアルの策定段階で一般スタッフも参画し、一緒に作り上げていますが、保護者様には、充分にお伝えできておりませんので課題といたします。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○			運営規定で定めている時期、頻度に準じて訓練を行っております。該当日に来所されたお子様の連絡帳には写真付きで様子をお知らせしておりますが、今後、該当日に来所されていないお子様に関しても、通信にも掲載し状況をお報せ致します。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○			研修の年間スケジュールでは年に1回を組み込み開催しておりますが、新しい職員を迎えた都度行っていくようよう課題といたします。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	○			やむを得ない状況を想定し、状況が改善される一時のみ実施させていただく旨、個別に重要事項説明書に記載、ご同意いただいてからサービス提供実施しております。また、一時的に行った場合、業務日誌に都度記載しております。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○			基本的に食事の提供はしておらず、持参していただいております。アレルギー情報は、アセスメントとして保護者様の申し出及び医師の指示書を基に対応させて頂いており、情報の更新がなされた場合等は、スタッフ間でも情報共有を行っております。
43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○			些細な事例でも起こった際は、記録、情報共有しております。	